

# 令和元年度における 各部等の重点目標 (達成状況)

■ 総務部	.....	1
■ 企画財政部	.....	3
■ 民生部	.....	5
■ 健康福祉部	.....	7
■ 農林商工部	.....	9
■ 建設部	.....	12
■ 上下水道部	.....	14
■ 中央病院事務局	.....	16
■ 教育委員会事務局	.....	17
■ 農業委員会事務局	.....	19

令和2年5月

十和田市

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 総務部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	防災体制の強化を図ります。	新たな同報系防災行政無線の整備及び一部運用開始

達成状況
整備状況：主配信局、副配信局、送信局、屋外拡声子局(26局) 戸別受信機(317個) 整備済み 旧町地域において一部運用開始

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 新同報系防災行政無線の整備	新同報系防災行政無線(送信局、配信局、子局及び戸別受信機)の整備を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新同報系防災行政無線整備工事の進捗</li> <li>6月21日 議案可決、本契約締結</li> <li>3月6日 試験放送(12時、18時)</li> <li>3月9日から保守のため正午に音楽放送開始</li> <li>3月末現在 主配信局、副配信局、送信局、屋外拡声子局(26局) 戸別受信機(317個) 整備済み</li> </ul>
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 総務部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	新庁舎の建設及び既存庁舎の改修、解体工事等を実施します。	新庁舎の建設及び既存庁舎の改修、解体工事の完了

達成状況
新庁舎は完成したが、解体する旧本館のアスベスト除去工事が追加になり、改修工事の完成にいたらなかった。

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1)	新庁舎建築、電気設備、機械設備工事の進行管理 令和元年7月からの業務開始に向け、新庁舎建設工事等の適切な進行管理を行います。	新庁舎完成 ■各工事の出来高100% ■令和元年7月1日から業務開始
(2)	既存庁舎の改修・解体工事等の進行管理 既存庁舎の改修・解体工事等に係る適切な進行管理を行います。	■各工事契約締結 建築工事 令和元年6月21日契約 電気設備工事 令和元年6月27日契約 機械設備工事 令和元年6月26日契約 ■旧本館アスベスト除去工事完了 ■外構整備工事継続中(工期:令和2年6月23日)
(3)		
(4)		
(5)		

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 企画財政部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	中心市街地及び郊外部における公共交通の利便性の向上を図ります。	①市街地循環バス等実証運行の実施 令和元年6月～令和2年2月 ②運行結果の検証及び報告

達成状況
<p>■実証運行の実施 令和元年6月7日～令和2年2月29日 実証運行</p> <p>■運行結果の検証 令和2年3月31日報告</p>

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 市街地循環バス等実証運行事業	地域共生社会の観点や、市地域公共交通網形成計画に基づき、市街地循環バス等実証運行を実施します。	<p>■実証運行の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年6月7日～令和2年2月29日 実証運行</li> <li>運行日数 252日 延べ利用者数9,403人</li> <li>(市街地循環バス:8,020人 西地区シャトルバス1,383人)</li> </ul> <p>■運行結果の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート回収数 5,189人</li> <li>(車内アンケート:4,854人 窓口等:335人)</li> <li>報告書 3月31日決裁</li> </ul>
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 企画財政部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	少子高齢化や人口減少対策に取り組みます。	「十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」実績報告書作成

達成状況
総合戦略計画期間内実績報告書を作成、庁内周知

↓  
具体的な取組

↑  
取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1)	「十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の最終年度となることから、地方創生特別枠事業の庁内情報共有と進捗状況管理を徹底するとともに、重要業績評価指標(KPI)の取りまとめを行い、計画期間内の実績について報告書の作成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成27年度以降の実績等の確認</li> <li>■6月21日                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度KPI実績の取りまとめ</li> <li>・令和元年度取組状況進捗確認(6月末現在)調査</li> </ul> </li> <li>■10月4日                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度取組状況進捗確認(9月末現在)調査</li> </ul> </li> <li>■12月27日                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度取組状況進捗確認(12月末現在)調査</li> </ul> </li> <li>■KPI実績と関連指標との比較</li> <li>■人口ビジョンの状況確認</li> <li>■第2期総合戦略素案に反映</li> <li>■3月27日                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告書を庁内周知</li> </ul> </li> </ul>
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 民生部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	国民健康保険事業の財政健全化を図ります。	①医療機関未受診者及び中断者受診率 35.0% ②過年度分療養給付費納付率 26.0%

達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療機関未受診者及び中断者の受診率 35.6%</li> <li>■過年度分納付率 36.7%</li> </ul>

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施	医療機関未受診者や受診中断者などのうち重症化リスクの高い者に対し保健指導を行う中で受診を促し、医療につなげるにより重症化予防を図ります。また、医療機関治療者に対し、かかりつけ医と連携した保健指導を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療機関未受診者及び中断者の受診率 35.6%                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・未受診者 対象者数40人 受診者数19人</li> <li>・中断者 対象者数33人 受診者数7人</li> </ul> </li> <li>(対象者数合計 73人 受診者合計26人)</li> </ul>
(2) 不当利得に関する取り組みの強化	国保資格の無い受診者に対する療養給付費の返還請求について、居所確認および通知等により納付を促します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■過年度分納付率(3月末現在)</li> <li>・36.7%(納付件数 26件/過年度分の未納件数 71件)</li> </ul>
(3)		
(4)		
(5)		

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 民生部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	地域の人々と連携し、安全で安心なまちづくりに取り組みます。	①セーフコミュニティ再々認証の取得 ②新たな広域コミュニティの組織化 2地区 ③空家等の適正管理の促進

達成状況
①セーフコミュニティ再々認証の取得 2月22日 ②新たな広域コミュニティの組織化 2地区(協期中) ③空家等の適正管理の促進 相談窓口設置、ランクCの空家55件に適正管理依頼

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) セーフコミュニティ事業	セーフコミュニティ活動の根幹を担う領域別対策部会の取り組みを中心に、行政・市民・団体が協働で事業を実施し、セーフコミュニティ再々認証の取得を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■領域別対策部会全体会を開催 4月25日、8月29日</li> <li>■外傷サーベイランス懇談会を開催 7月19日</li> <li>■セーフコミュニティ推進懇談会の開催 9月12日</li> <li>■再々認証に向けた申請 6月18日 国際SC認証センターに対し、認証申請に係る市長の書簡を提出 7月1日 SC認証申請書を(一社)日本SC推進機構へ提出</li> <li>■セーフコミュニティ現地審査を開催 10月9日～11日</li> <li>■セーフコミュニティ認証式典を開催 令和2年2月22日</li> </ul>
(2) 新たなコミュニティづくり支援事業	コミュニティ組織の立ち上げ支援や立ち上げ後の組織を支援し、新たな広域コミュニティづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新たな広域コミュニティの組織化にむけた協議(2地区) 4月、5月、12月 ちとせ小地区 8月、2月 松陽小地区</li> <li>■組織化にむけた座談会の開催(2地区) 5月、7月 ちとせ小地区座談会 2月 高清水小地区座談会</li> <li>■広域コミュニティ活動支援及び事務局支援(4地区) 法奥小地区、東小地区、南小地区、三小地区</li> </ul>
(3) 空家等対策事業	空家調査により把握した、周囲に悪影響を及ぼす恐れがある危険な空家について、空家等対策計画に基づき、適正管理の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■5月 相談窓口開設</li> <li>■平成30年度空家等調査において把握した危険度大の空家等及び市民から苦情のあった空家等の所有者等に対し、適正管理依頼を実施(76件)。</li> <li>■空家等対策協議会の開催に向け、協議案件等の検討を実施</li> <li>■空家相談会の開催について宅地建物取引業協会と協議</li> </ul>
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 健康福祉部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	地域全体で子育て・子育てをしっかりと支える環境の整備を図ります。	①こども家庭相談センター普及啓蒙講座 年4回 ②幼児教育・保育の無償化の実施 令和元年10月から ③第2期十和田市子ども・子育て支援事業計画策定 令和2年2月まで ④子育て応援フォーラム来場者数 延べ1,000人

達成状況
①こども家庭相談センター普及啓蒙講座 年4回 ②幼児教育・保育の無償化の実施 令和元年10月から実施 ③第2期十和田市子ども・子育て支援事業計画策定 令和2年3月策定 ④子育て応援フォーラム来場者数 延べ1,254人

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) こども家庭相談センターの役割普及	支援を要する子どもの実情把握、児童虐待等の未然防止のため、こども家庭相談センターの存在意義を広く周知します。	■講座開催回数 4回 ・5月8日 第1回講座開催(場所:市教育センター) ・8月5日 ふるさと出前きらめき講座(場所:トワーレ) ・11月6日 ふるさと出前きらめき講座(場所:トワーレ) ・1月28日 ふるさと出前きらめき講座(場所:市役所別館3階) ■情報発信 ・5月12日 子育て応援フォーラムinとわだ2019 ブース 出展 PR活動 ・6月24日～26日 小・中学校訪問 ・7月22日～30日 保育園訪問 ・広報掲載(4月、11月) ・ホームページ(5回)・フェイスブック(5回)情報更新 ・オレンジリボン配布(9月、10月)各コミュニティセンターまつり
(2) 幼児教育・保育の無償化の実施	幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子ども及び住民税非課税世帯の0歳から2歳児の子ども利用料を無償化します。	■幼児教育・保育の無償化の準備 ・広報、ホームページに掲載(7月、9月) ・7月16日 子ども子育て支援システム改修業務委託契約を締結 ・8月19日、20日 施設長向け説明会開催 ・8月23日 子育てのための施設利用給付認定・変更申請書の配布(9月6日までの提出) ・9月13日 施設へ副食費免除対象者を通知 ・9月26日 利用者へ無償化のお知らせ、施設等利用給付認定、副食費免除を通知 ・10月 幼児教育・保育無償化の実施
(3) 第2期十和田市子ども・子育て支援事業計画の策定	十和田市子ども・子育て支援会議の意見を踏まえ、第2期十和田市子ども・子育て支援事業計画(計画期間:令和2年～6年)を策定します。	■第2期十和田市子ども・子育て支援事業計画の策定 ・8月13日 計画策定業務委託契約を締結 ・10月15日 第1回会議 ・11月18日 第2回会議 ・12月23日 第3回会議 ・1月 県との協議 ・2月7日～26日 パブリックコメントの実施 ・3月3日 第4回会議 ・3月25日 庁議(報告) ・3月31日 HP公開
(4) 「子育て応援フォーラム」開催事業	子育てに関する取組を行っている関係団体が連携し、相互に学び体験する機会となり、地域ぐるみで子育ての意識を向上させるためのフォーラムを、昨年度に引続き開催します。	■子育て応援フォーラムを開催 ・イベント名 「子育て応援フォーラムinとわだ2019～子育てのパパママを応援し隊！～」 ・開催日 令和元年5月12日(日) ・開催場所 市民交流プラザ「トワーレ」 ■来場者数 延べ1,254人
(5)		



## 令和元年度における各部等の重点目標

### 健康福祉部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	第8期介護保険計画策定に向けて、高齢者の生きがいがづくりと社会参加促進に取り組めます。	①地域づくりフォーラム開催 参加者数 100名 ②講演会 年2回開催 総参加者数 300人 ③研修会の実施 総参加者数 50人 ④HP等で介護保険事業推進状況の分析結果を公表

達成状況
①地域づくりイベント開催 11月22日 総参加者数157名 ②講演会開催(とわだ市民カレッジ) 7月30日、10月8日、年2回総参加者数 342人 ③研修会の実施 介護支援専門員40名 ④介護保険事業推進状況の公表 HPIに3月19日掲載

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 生活支援体制整備事業	生活支援を担う多様な主体間の情報共有と連携強化により、地域における支え合いの体制づくりを推進します。	■11月22日地域づくりイベント開催 総参加者数157名 ■地域づくり座談会「のべる会」の開催 ・7町内会中5町内会開催 1回開催: 1町内会 2回開催: 3町内会 3回開催: 1町内会 ■H30年度地域づくり座談会開催町内会への継続支援 ・H30年度開催した7町内会に働きかけ、結果3町内会を継続支援町内会とした 赤伏町内会: 11月18日座談会を開催 吾郷町内会: 12月23日アンケート調査について協議 上樋口町内会: 1月14日座談会を開催
(2) 健康長寿事業 介護予防講演会の開催	高齢者の元気づくり・生きがいがづくりにつながり、これまでの生き方を振り返り、これからの人生の過ごし方を考える講演会を開催します。	■7月30日、1回目講演会開催(とわだ市民カレッジとしてスポーツ生涯学習課高齢者講座と共同開講) ・参加者数190人 ■10月8日、2回目講演会開催(とわだ市民カレッジとしてスポーツ生涯学習課高齢者講座と共同開講) ・参加者数152人  年2回総参加者数 342人
(3) 「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向けた取組	「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向けた取組として、介護支援専門員を対象とした研修会を実施します。	■6月20日に委託先である十和田市居宅介護支援事業所連絡協議会と契約し、7月の研修会開催に向け協議 ■7月20日、十和田市総合体育センター2階研修室で実施(参加 介護支援専門員40名)
(4) 介護保険事業の推進状況の分析	厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システムを活用し、他市町村等との比較などを実施し、地域の特徴を把握します。	■「見える化」システムの活用 ・5月～ システムのマニュアル等を再確認し、より分析しやすい指標などの内容把握及び他市ホームページの掲載内容を情報収集しながら、必要となるデータの報告を行っている。
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 農林商工部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	青年就農者の確保に取り組み、農村地域の活性化を図ります。	①青年就農者数 4人 ②移住・定住就農者数 1組

達成状況
①青年就農者数 2人 ②移住・定住就農者数 0組

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 青年就農者への支援	市の人・農地プランに位置付けられている原則45歳未満の独立・自営農業者に青年就農給付金を給付することにより、農業経営の安定化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■青年就農者数 2人</li> <li>・就農相談 10件</li> <li>新規就農については、就農に必要な技術習得等について県民局や農協と連携し、情報を提供するなどの支援を実施</li> <li>・相談を経て、農業研修に入った者が3名おり、令和3年度の就農に向けて準備中</li> <li>・今年度で研修を終える者が1名おり、就農準備について対応中</li> <li>・雇用就農から独立する者からの相談は、令和2年度の採択に向けて対応中</li> </ul>
(2) 移住・定住就農者への支援	農家の空き家等を活用し、市外からの青年就農者の移住・定住支援に取り組むことにより、地域の交流活動を通じた農村活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移住・就農者数 0組</li> <li>・新規相談(移住・就農) 1件</li> <li>・移住・就農者確保に向けたホームページについて、より分かりやすく更新し発信したほか、政策財政課と連携し、首都圏で開催された移住フォーラム等で事業案内パンフレットを配布</li> <li>・政策財政課と連携し、配偶者(妻)が市外出身である若手農業者夫婦2組および市内農業法人代表3組について取材し、移住ポータルサイト「日々コレト和田ナリ」内での情報発信を実施</li> </ul>
(3)		
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 農林商工部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	とわだ製品の認知度向上と販売拡大を推進します。	①西洋野菜の生産及び販売者数 6者 ②学校給食における地元産食材使用率 10.0% ③物産展・商談会出展事業者 96事業者 ④開発商品数 10商品

達成状況
①西洋野菜の生産及び販売者数 6者 ②学校給食における地元産食材使用率 10.7% ③物産展・商談会出展事業者 89事業者 ④開発商品数 37商品

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 西洋野菜栽培拡大事業	西洋野菜栽培農家を育て、生産量拡大により、産地として確立させ、販路拡大に取り組みます。	■西洋野菜の生産及び販売者数 6者 ・4月1日 西洋野菜作付け講習会参加者募集 ・4月19日 応募者9者から6者を決定 ・6月～11月 巡回指導実施 ・7月～12月 6者生産及び販売実施
(2) 「食と農」安全・安心推進事業	学校給食センターと連携し、地元産食材の導入による価格差額分の食材を購入し、地元産食材の使用割合の向上を目指します。	■地元産食材使用率 10.7% ・4月25日 学校給食地産地消促進会議開催 ・7月～2月分の学校給食へ人参、長いも、豚肉、鶏卵等提供
(3) とわだ産物産展・バイヤー商談会の実施	首都圏のスーパー等での物産展や大規模商談会に出展し、とわだ産物の魅力を発信するとともに、バイヤーとの新規取引及び販路拡大に取り組みます。	■物産展・商談会出展事業者 89事業者 ・4月～3月、十市大祭典、JR大宮駅産直市、スーパーマーケットトレードショー2020、農マルシェ等
(4) とわだの逸品開発事業	とわだ産品を活用した加工品の開発やパッケージデザインのアドバイスを通じ、魅力ある新たな商品開発の支援を行います。	■開発商品数 37商品 (申込数 8者)
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 農林商工部の重点目標

No.	重点目標	目標値
3	中心市街地の活性化や多様な地域資源を活かした観光振興の推進により、地域活力の維持・増進を図ります。	市内年間宿泊施設利用者数 37万人 平成30年 32万7千人 平成29年 32万人 平成28年 28万8千人

達成状況
市内年間宿泊施設利用者数 平成31年(令和元年) 33万1千人

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) （仮称）地域交流センターの整備	中心市街地活性化基本計画に基づき、現代アートを中心とした地域交流の拠点となる多用途施設を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本設計・実施設計</li> <li>・3月19日 業務完了</li> <li>■既存施設解体工事</li> <li>・3月27日 工事完成</li> <li>■公有財産の取得</li> <li>・3月24日 所有権移転登記完了</li> </ul>
(2) （仮称）公共交通拠点の整備	中心市街地活性化基本計画に基づき、バスやタクシー等の交通結節点となる、観光案内機能を備えた交通拠点を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本計画の策定</li> <li>・1月31日 業務完了</li> <li>■用地関係調査</li> <li>・3月31日 業務完了</li> <li>■事業認定申請図書作成</li> <li>・3月31日 業務発注準備完了</li> </ul>
(3) 国立公園満喫プロジェクトに基づく取組の推進	国立公園満喫プロジェクトにおいて策定された「十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020」に基づき、各種取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外国人宿泊者数</li> <li>・66,930人(1月～12月確定値)</li> <li>※平成30年1月～12月 61,643人</li> <li>■奥入瀬渓流館改修基本計画及び基本設計</li> <li>・9月10日 業務完了</li> <li>■奥入瀬渓流館改修実施設計</li> <li>・3月31日 業務完了</li> <li>■奥入瀬渓流館駐車場トイレ改築</li> <li>・12月25日 工事完了・供用開始</li> <li>■既存案内看板の多言語化</li> <li>・10月1日 QRコードによる案内サービス提供開始 (奥入瀬渓流内18箇所)</li> <li>■市道休屋十和田神社線石畳化実施設計</li> <li>・3月27日 業務完了</li> <li>■パワースポットマップ作成</li> <li>・12月5日 作成・配布完了 (日本語、英語、繁体字、簡体字 各5,000部)</li> </ul>
(4) 焼山地区の活性化	焼山地区活性化基本計画に基づき、十和田湖温泉郷の道路・街路等の再整備に係る基本構想等を策定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■十和田湖温泉郷まちなみ再整備基本計画</li> <li>・3月31日 計画策定</li> </ul>
(5) DMOによる観光地域づくりの推進	一般社団法人十和田奥入瀬観光機構により、一貫した方向性や戦略に基づく事業を実施することで、当市における観光地域づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光戦略策定</li> <li>・4月～3月 十和田奥入瀬観光機構との協議実施</li> <li>・3月27日 観光戦略(骨子)案の作成</li> </ul>
(6) アーツワダ グランドオープン10周年記念事業	令和2年度にアーツワダがグランドオープン10周年を迎えることを記念し、記念カタログ及び企画展の準備事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■10周年記念企画展準備業務委託</li> <li>・3月27日 準備業務完了</li> <li>■記念カタログの作成</li> <li>・2月28日 データ作成完了</li> <li>・3月31日 カタログ印刷完了</li> </ul>

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 建設部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	道路の防災・安全対策を推進します。	①橋梁の点検の実施 58橋 ②路面下空洞調査の実施 市道路20km ③路面性状調査の実施 市道路10km

達成状況
①59橋の橋梁点検を行った。 ②31.5kmの調査を行った。 ③11.59kmの調査を行った。

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等										
(1) 橋梁点検の実施	安全安心で快適な生活の維持のため、道路ストック対策事業による橋梁のインフラ老朽化対策のための点検を実施します。	<p>■橋梁点検実施数 59橋の点検を行った。</p> <p>判定については、</p> <table> <tr> <td>I (健全)</td> <td>: 13</td> </tr> <tr> <td>II (予防保全)</td> <td>: 41</td> </tr> <tr> <td>III (要補修)</td> <td>: 5</td> </tr> <tr> <td>IV (要緊急対応)</td> <td>: 0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59橋</td> </tr> </table> <p>市のホームページにて結果を公表。</p>	I (健全)	: 13	II (予防保全)	: 41	III (要補修)	: 5	IV (要緊急対応)	: 0	計	59橋
I (健全)	: 13											
II (予防保全)	: 41											
III (要補修)	: 5											
IV (要緊急対応)	: 0											
計	59橋											
(2) 路面下空洞調査の実施	道路の空洞化状況を確認し事故対策を図るため、緊急輸送道路等に指定されている道路の陥没事故を未然に防止するための調査を実施します。	<p>■市道路延長L=31.5kmの調査を行った</p> <p>空洞箇所が3か所発見されたが、緊急性が低いため令和2年度中に補修を行う予定。</p>										
(3) 路面性状調査の実施	安全で円滑な交通の確保と舗装に係る維持管理を効率的に行うため、道路構造物の老朽化対策調査を実施します。	<p>■市道路延長L=11.59kmの調査を実施した。</p>										
(4)												
(5)												

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 建設部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	安全・安心な生活環境の確保に向け、樹木の適正な管理に努めます。	①高木剪定 1地区 ②歩行者の支障となっている街路樹の撤去 1路線

達成状況
(1)保全地区の安産・安心の確保 ■保全地区7号(3工区)高木化樹木19本剪定 (2)安全な歩行空間の確保 ■北園小学校・七郷線 街路樹(ハカイトウ) 13本撤去 植樹樹 37箇所砂利舗装完了

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 保全地区の安全・安心の確保	保全地区の高木化している樹木の剪定を行い、地域の安全・安心の確保に努めます。	■保全地区7号 ・6月20日 高木化樹木の調査実施 ・3月25日 完了
(2) 安全な歩行者空間の確保	歩行者の通行や除雪等に支障となっている歩道の街路樹を撤去し、安全な歩行者空間の確保に努めます。	■北園小学校・七郷線 ・8月23日 樹木撤去完了及び植栽樹砂利舗装完了
(3)		
(4)		
(5)		

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 上下水道部の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	快適な暮らしを支えるため、効率的で持続可能な整備を行い、経営の効率化を図ります。	①十和田市水道事業ビジョン2019の策定 ②有収率 88.5% ③管路耐震適合率 39.2%

達成状況
①水道事業ビジョンの策定 令和元年9月24日完了 ②漏水調査の実施 有収率 88.5%(決算見込) ③管路更新の実施 管路耐震適合率 39.3%

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 十和田市水道事業ビジョン2019の策定	中長期的な水道事業の経営基盤強化を図るため、経営審議会、全員協議会へ説明し、厚生労働省への報告と市ホームページ等により公表します。	■水道事業ビジョン策定 ・8月1日 上下水道事業経営審議会へ報告 ・9月13日 市議会全員協議会へ報告 ・9月24日 水道事業ビジョン策定 ・9月24日 厚生労働省へ報告 ・9月24日 市ホームページ公表
(2) 漏水調査の実施	有収率の向上を図るため、漏水調査を実施します。	■漏水調査の実施 ・6月3日、漏水調査業務委託契約を締結 (全8工区:前年度まで2工区調査済、今年度2工区調査実施) (履行期限:令和2年1月31日) ・戸別音聴調査(3,999戸)の実施 ・路面音聴調査(47.4km)の実施 ※地下漏水7ヶ所(給水管)発見・漏水修理済み (有収率:88.5%見込)
(3) 管路更新の実施	安心・安全な水道水の安定供給をするため、老朽化した管路の更新を実施し、管路耐震適合率を向上させます。	■配水管布設替工事の実施 ・配水管布設替工事 13件 延長 4,955m 完了 (管路耐震適合率:39.3%)
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 上下水道部の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	快適な住環境の整備と湖や河川など公共用水域の水質保全に向け、下水道施設の整備を進めます。	①下水道変更事業計画業務の実施 ②汚泥濃縮設備増設工事の実施 ③小型浄化槽設置 30基 ④水洗化率 87.5%(年度末)

達成状況
①全体計画及び事業計画変更のための計画策定業務委託完了 ②汚泥濃縮機械設備及び電気設備の製作・設置工事完了 ③小型浄化槽設置数 22基 ④達成水洗化率 86.1%

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 十和田市下水道整備事業	人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、下水道事業の経済的かつ効率的な整備推進のため、公共下水道十和田処理区事業計画の変更業務を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■効率的な事業実施のための計画策定業務委託</li> <li>・9月10日 効率的な事業実施のための計画策定業務委託契約を締結(納期:令和2年3月25日)</li> <li>・9月19日 受託業者と第1回協議(資料の提供)</li> <li>・11月21日 受託業者と第2回協議(採用値の確認)</li> <li>・2月14日 受託業者と第3回協議(計画人口等採用値の説明)</li> <li>・3月24日 委託成果品納品</li> </ul>
(2) 下水道広域化推進総合事業	下水道の広域化及び共同化のために、十和田下水処理場における汚泥濃縮機能の増強を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下水道広域化推進総合事業</li> <li>・4月26日 No.3汚泥濃縮電気設備(増設)工事請負契約を締結(工期:令和2年3月15日)</li> <li>・5月29日 No.3汚泥濃縮機械設備(増設)工事(その2)請負契約を締結(工期:令和2年3月15日)</li> <li>・3月15日 濃縮電気設備(増設)工事完了</li> <li>・3月16日 濃縮機械設備(増設)工事完了</li> </ul>
(3) 十和田市浄化槽整備事業	下水道集合処理区域以外のPFI事業による小型浄化槽設置事業を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小型浄化槽設置申請基数 22基</li> <li>・PFI事業者(ティ・エム・イー株)が、浄化槽の設置促進及び普及促進補助制度に関するチラシ約4,100枚を5月22日付け地元紙に折り込んで周知徹底を図った。</li> <li>・普及促進補助及び単独浄化槽撤去費補助制度を広報4月号、2月号及びホームページに掲載し、周知徹底を図った。</li> </ul>
(4) 水洗化率の向上	公共下水道十和田処理区において、供用開始から3年を経過した未接続世帯の水洗化を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共下水道十和田処理区に接続替えた世帯数 100世帯(水洗化率 H30年度末実績値85.8%) 86.1%(0.3ポイント増)</li> <li>・6月27日 接続率の低い地区の未接続世帯(東三番町等の111戸)に対し、ダイレクトメールによる接続依頼を実施。</li> <li>・7月4日 悪臭の苦情が寄せられた西金崎地区21戸にダイレクトメールによる接続依頼を実施。</li> <li>・広報2月号及びホームページに、公共下水道への接続依頼と水洗化資金融資あっせん・利子補給制度を掲載。</li> </ul>
(5)		



## 令和元年度における各部等の重点目標

### 中央病院事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	医業収益の向上及びコストの削減を進め、病院事業の経営安定化を図ります。	単年度収支において現金ベースでの黒字の確保

達成状況
(1) 医師確保対策の推進 1人診療科の解消及び参加体制の充実は達成できなかった。 (2) 急性期確保の充実と入院患者の確保による収益の増 救急医療については高い水準を確保できたが、病床利用率について目標を達成できなかった。

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 医師確保対策の推進	関係大学等への働きかけを継続します。	■ 関連大学への訪問回数 15回 (弘前大学9回及び東北大学4回、 秋田大1回、岩手医大1回)
(2) 急性期医療の充実と入院患者の確保による収益の増	救急医療体制の充実を図り、受入率の向上に努めます。また、地域医療連携を深め、クリニカルパスや地域包括病棟の活用を進め、在院日数の短縮を図り入院患者の確保に努めます。	■ 救急搬送受入率(4月～12月平均) 98.4% ■ 病床利用率(4月～12月平均) 一般: 77.9% 包括ケア: 69.8% ■ 紹介率(4月～12月平均) 66.1% クリニカルパス適用率(4月～3月平均) 24.7%
(3)		
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 教育委員会事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	次代を担う人材の育成に向けて、地域との連携を重視しながら、市内小中学校の教育活動の充実を図ります。	アンケート調査において、「自校の特色ある教育活動等を通じて、夢・希望・志の実現を意識した学校生活を送っている。」と回答した児童生徒の割合 90%以上

達成状況
学校教育の活性化 ■アンケート調査において、「自校の特色ある教育活動等を通じて、夢・希望・志の実現を意識した学校生活を送っている。」と回答した児童生徒の割合 94.1%

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 三本木中学校の改築事業	令和元年11月末までに校舎建設工事を完了し、令和2年3月末までに、現校舎一部解体を行います。	■3月末の各工事の進捗状況 校舎建設工事 出来高100%(11月完成) 旧校舎解体工事(Ⅰ期) 出来高100%(3月完成)
(2) 洞内小学校と松陽小学校の統合及び大深内中学校との併置	統合及び併置に向けた様々な課題について、開校準備委員会での協議を継続するとともに、基本計画・基本設計を作成します。	■基本計画・基本設計 ・5月31日 建築基本設計業務委託契約を締結(履行期限:令和2年2月20日) ・11月26日 専門部会で基本計画(案)を説明し、意見を伺い、11月29日 開校準備委員会にて、基本計画(案)を承認 ・12月13日 議会全員協議会において基本計画を説明 ・2月28日 専門部会で基本設計(案)を説明し、意見を伺い、3月4日 開校準備委員会にて、基本設計(案)を承認 ・3月18日 議会全員協議会において基本設計を説明
(3) 国際理解教育の推進	中学生の英語力向上のため、中学校3年生の実用英語技能検定料の助成を行います。	■3級以上相当の力を有する割合 40.9% ・各校担当者への通知 4月10日 ALT・EST担当者研修会で各校担当者へ助成事業及び手続きの仕方を通知 ・各校への通知 4月11日 実施要項を各校長宛て、助成事業実施案内チラシを生徒・保護者宛てに配布 ・実用英語技能検定公費受験実施 10月4日 受験率96.2%
(4) 日本一を目指した特色ある教育活動の推進事業	各小中学校における特色ある教育活動の充実に向けて、効果的な支援を行います。	■アンケート調査において、「活動が楽しい。」と回答した児童生徒の割合 94.1% ・各校の日本一事業に関わる活動の進捗状況を確認 5～7月 学校訪問にて ・各校の日本一事業支出に係る書類收受・作成 4月～12月 ・報告書の提出依頼 12月2日 各市立小・中学校長宛て
(5) 新聞活用教育事業	児童生徒の読解力や情報活用能力等の向上のため、新聞を活用した教育活動を支援します。	■アンケート調査において、「新聞を取り入れた教育活動の工夫に努めることができた。」と回答した教師の割合 72.9% ・各校での事業展開 4月1日 事業開始 ・学校及び市民への周知 5～7月 学校訪問にて新聞の積極的な活用を呼び掛ける ・前期報告書の提出依頼 9月12日 各市立小・中学校長宛て ・学校における新聞の活用事例等の紹介 9月12日 各市立小・中学校長宛て

# 令和元年度における各部等の重点目標

## 教育委員会事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	市民の学習環境づくり、地域に根ざした多彩な文化、芸術、スポーツ活動の推進を通じて、活力ある人材の育成を図ります。	社会教育事業・スポーツ活動への参加者数 13万人 (平成30年度 12万9,733人) (平成29年度 12万 668人)

達成状況
社会教育事業・スポーツ活動への参加者数 14万323人

### 具体的な取組

### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 志道館整備計画の推進	新志道館建設に向けて、各種事業を実施します。	<b>■基本設計及び実施設計の策定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23日 基本設計業務委託契約締結</li> <li>・5月24日 建設用地現況測量業務委託契約締結</li> <li>・6月議会 補正予算計上:地質調査業務委託</li> <li>・7月8日 地質調査業務委託契約締結</li> <li>・8月1日 建設用地現況測量業務委託完了</li> <li>・11月27日 地質調査業務委託完了</li> <li>・12月議会 議会全員協議会で基本設計説明 補正予算計上:実施設計</li> <li>・12月12日 基本設計業務委託完了</li> </ul> <b>■既存施設の解体設計</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月議会 補正予算計上:解体設計業務委託</li> <li>・7月5日 解体工事設計業務委託契約締結</li> <li>・10月30日 解体工事設計業務委託完了</li> <li>・12月議会 補正予算計上:解体工事費、工事監理費</li> </ul>
(2) 市民文化センター及び生涯学習センターの劣化度調査	築30年以上経過した市民文化センター及び生涯学習センターについて、建物等の現状を把握するため、劣化度調査を実施します。	<b>■劣化度調査実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月11日 劣化度調査終了 長寿命化のための改修工事の方針決定</li> <li>・6月議会 補正予算計上:実施設計(特定天井等)</li> <li>・7月11日 実施設計業務(その1)委託締結</li> <li>・12月議会 議会全員協議会で長寿命化改修工事説明 補正予算計上 改修工事:債務負担行為(特定天井等) 改修設計:実施設計(電気設備等)</li> <li>・1月10日 実施設計業務(その1)委託終了</li> <li>・1月15日</li> <li>・3月議会 改修工事請負契約</li> <li>・3月18日 改修工事請負契約締結</li> </ul>
(3) とわだ市民カレッジの実施	市民を対象に、生涯学習の場として多様な分野の公開講座を実施します。今年度は、関係機関と連携し、実施内容の充実を図ります。	<b>■講座開催状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1講座:7月10日 鳥越俊太郎 504人</li> <li>・第2講座:7月18日 入江 正和 105人</li> <li>・第3講座:7月25日 勝俣 悦子 93人</li> <li>・第4講座:7月30日 杉若 恵亮 190人</li> <li>・第5講座:9月19日 嬉野 雅道 335人</li> <li>・第6講座:10月8日 あがた森魚 152人</li> <li>・第7講座:11月7日 タナカトウコ 89人</li> </ul> 受講者数 合計 1,468人 <b>■前年度比 69.1%増</b>
(4) (仮称)十和田歴史館の基本構想着手	十和田市郷土館、民俗資料館、旧新渡戸記念館を統合した複合施設の調査・研究に着手します。	<b>■調査の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～3月 十和田市郷土館、民俗資料館、新渡戸記念館の基礎的事項調査終了</li> <li>・8月 基本構想たたき台案、スケジュール案作成</li> </ul>
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 農業委員会事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
1	遊休農地の発生防止と再生可能な農地の有効利用を促します。	遊休農地減少面積：2.9ha (平成30年度末遊休農地面積 29.2ha)

達成状況
遊休農地減少面積 1.2ha

#### 具体的な取組

#### 取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1)	農地パトロール等により確認された遊休化している農地について、農地の所有者に対し利用意向調査を行い適正な利用と管理を促すとともに、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して遊休農地の発生防止と解消を図ります。	<p>■遊休農地減少面積 1.2ha(3月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月24～27日 市内全域を対象に農地パトロールを実施</li> <li>・11月20日 遊休農地所有者へ農地の利用意向調査書及び指導文書を発出</li> <li>・12月～1月 遊休農地所有者への訪問指導を実施</li> </ul>
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

## 令和元年度における各部等の重点目標

### 農業委員会事務局の重点目標

No.	重点目標	目標値
2	農業の担い手の確保に資する制度等について、周知・啓発及び支援を行います。	①農業者年金新規加入者数 7人 ②交流会などの参加者数 男性15人、女性15人

達成状況
①農業者年金新規加入者数 8人 ②交流会などの参加者数 男性15人、女性14人

↓  
具体的な取組

↑  
取組の結果

目標の達成に向けた取組項目	取組項目の概要	取組状況等
(1) 農業者年金の加入推進	制度の普及PRのため、パンフレットの送付や市広報等を活用し幅広い情報の提供を行うとともに、加入推進員を中心とした戸別訪問の実施や制度説明会の開催など、JAと連携しながら加入推進活動を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業者年金新規加入者数 8人(3月末時点)</li> <li>■ 11月15日十和田市農業者年金推進協議会作業部会開催</li> <li>■ 随時、加入推進員(農業委員、農地利用最適化推進委員、JA職員)による戸別訪問を実施</li> </ul>
(2) 農業後継者結婚対策事業	関係団体及び庁内の関係部署と連携し、交流会等のイベント開催を通じ、出会いの場を創出することによる結婚活動支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月27日第1回交流会、12月14日第2回交流会を開催</li> <li>■ 5月29日・7月5日・8月16日 交流会開催のための実行委員会を開催</li> <li>■ 第1回交流会参加者数(男性8人、女性7人)</li> <li>■ 第2回交流会参加者数(男性7人、女性7人)</li> <li>■ 令和元年度の実績値(男性15人、女性14人)</li> </ul>
(3)		
(4)		
(5)		